

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	高岡市さすな子ども発達支援センター（児童発達支援事業）		
○保護者評価実施期間	令和6年10月15日 ～ 令和6年11月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	129	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	令和6年11月28日 ～ 令和6年12月6日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業所向け自己評価表作成日	令和7年2月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種の職員が支援にあたっており、互いに連携することで支援内容の充実を図ることができる。	・主治医、看護師、訓練士、相談支援専門員と連携を図って支援にあたっている。	・各職種との連携がスムーズになるよう、定期的な情報交換の場や合同研修を実施する。
2	・家族支援の充実を図っている。	・就学講演会やペアレント・トレーニングを実施している。 ・全保護者に定期的に個別相談日を設け、子育ての悩みに寄り添い、子どもや保護者のニーズや課題を確認し共有している。	・講演や研修の案内については、口頭や紙媒体の情報提供だけでなく、ホームページを活用する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設の老朽化	・エアコンやトイレ等の施設設備が老朽化し、故障や一時的な使用停止を実施することがあった。	・必要に応じて、補修や改修を行っていく。
2	・センターからの情報の周知状況にばらつきがある。	・重要事項については保護者に手紙を配布し、口頭でも伝えられているが、通所日が月2～3回となっているため、急な欠席があった場合、配布が遅れてしまうことがある。	・欠席の連絡を受けた際に、配布物の内容の説明を徹底していく。 ・メール配信でのお知らせを検討していく。
3			